

2015年度最優秀作品賞(中学生・高校生部門)受賞校 沖縄県・昭和薬科大学 附属高等学校の皆さんに直撃!

『My True Heart』という作品で、2015年度KWN日本コンテストの最優秀作品賞(中学生・高校生部門)を見事受賞した沖縄県の昭和薬科大学附属高等学校・アート部のみなさん。驚くべきことに、彼女たちは全員、映像制作初挑戦だそう。そんな彼女たちに直撃し、KWN参加を通して感じたことや学んだことなどを自由に語っていただきました。

「何ごともやればできる!」という自信になった

このテーマにしようと思った経緯や理由を教えてください

崎原 映像制作は初体験だったので、等身大の自分達の悩みや葛藤なら表現しやすいのではと思い、このテーマに決めました。

新里 友達同士のコミュニケーションをテーマにしよう。だったら学校での出来事が身近だなと考えました。

儀間先生 何しろ初めて尽くしだったこともあり、ロケ地選びなどで負担がないよう、校内を舞台にしては、というアドバイスをを行いました。

作品制作の過程で苦勞した点や学んだ点は?

崎原 主演、脚本を担当しました。私がKWNへの参加を提案したのですが、当初は皆んなあまり参加に乗り気ではありませんでした。制作スケジュールにも遅れが生じて、撮影前からすでに心が折れそうでした(笑)

みんなとの絆が深まりました!



新里真唯さん

栄門 私は出演とおもに撮影を担当したのですが、一つの場面を撮影するのにさまざまな角度から撮影しなければならないのが大変でしたね。探し探し撮影しながら「なるほど」と納得して(笑)ような覚えがあります。

新里 編集と録音担当です。まわりの雑音を入れずに音声を撮るのにとっても苦勞しました。ここは基地が近いので、飛行機の音が入り、NGになることが多かったです。

米須 私は出演と編集を担当したのですが、演じるのがとても恥ずかしかったです!

崎原 最初は自分一人で仕切ろうとしていたのですが、私達同様、KWNに参加している中学3年生たちの映像制作風景を見て、やはり全員で協力して作り上げないと彼女たちには勝てないと。以降はまずそれを念頭に置くようにしました。でもとにかく時間がなくて……

米須 夜の8時過ぎまで学校に残ってみんなで撮影したよね。少し間違えただけでリテイクだし、正直こんなに時間がかかるとは思いませんでした。

栄門 何もかもが初めてだったので、昼食を食べるシーンひとつとっても、勉強しながら食べるものって一体何だろう、と真剣に悩みました。ここまで考えて撮影しなければいけないのかと実感しました。

新里 だから作品が完成したときは達成感というより、やっと終わったという感じでした。でもやればできるということが分かったし、とても楽しかったです。



2015年度 中学生・高校生部門
最優秀作品賞/映像美術賞

『My True Heart』

周りの友達に合わせてばかりで本当の自分の気持ちを出せずにいる内気な少女が、ある出来事をきっかけに「自分らしく」いることの大切さを知る

最優秀作品賞が決まったときの正直な感想は?

一同 信じられない!

崎原 制作期間は他のどの学校よりも短かったかなと思いますし、何より他校より編集技術の劣る自分達が最優秀に選ばれたのが不思議でした。でも、とても嬉しかったです。

儀間先生 私自身も正直、参加するこ

映像作りの大変さが実感できた

崎原ひかりさん



みんなで一つのことを成し遂げた。これが一番の財産だと思います。



機会があればまた映像制作にトライしたい

栄門美咲希さん



とに意義がある、というスタンスだったので……ただ、作品の途中、映像をモノクロからカラーにすることで、主役の子の心情の変化を表現した点など、結果的にある程度意図したものは作れたのかなとは思っています。表彰式がテストの前日だったので、全員を会場に連れていけなかったのが心残りです。

これからKWNの映像制作を目指す後輩たちにひと言

崎原 5分間の映像制作ですが、いろんな壁にぶつかりかなり苦勞すると思います。実際、私達も参加を断念することを考えたこともあります。でも作らないで後悔するより、作って後悔する方が断然いい。仲間と作る作品とその制作期間は一生の思い出になります。

新里 知識もほとんどなく、みんなで協力しながら手探りでやってきたので、より絆が深まったと思います。

お弁当食べるシーンが印象に残っています!



米須日菜子さん

米須 妙に気張らずに、自分たちが表現したいものをありのまま作ればいいと思います。

儀間先生 映像を作ることだけが目的ではないと考えます。協力して一つの物を作るというプロセスを通して、行動の仕方や人間関係などさまざまな学ぶことがあると思います。頑張ってください。

グローバル表彰式とは

KWNに参加する世界各国の中小高校のビデオ作品を審査する「グローバルコンテスト」。グローバル表彰式は各審査を経てグランプリ候補にノミネートされた作品が参加する。2016年度はパラリンピック開催中のブラジル・リオデジャネイロで開催され、世界18の国と地域553校から選ばれた7校が表彰されました。



映像作品が仕上がるまで

ある学校の具体例を紹介します!

企画



どんなテーマで、どのような作品をつくりたいか、入念にディスカッションします。

取材



テーマに沿った取材こそ、いい作品の命。いかに現場の声が拾えるかが、作品のクオリティに影響します。

コンテ作り



取材をもとに、どのような映像が必要であるかを絵コンテに起こします。具体的なビジュアルをイメージ!

撮影



絵コンテをベースに実際にカメラを回します。同時にコメントも収録するのでシナリオづくりも大切です。

編集



撮影した映像を作品に仕上げていきます。取材映像の構成の組み立てや、効果音など吟味して完成させます。

完成!